

校長室だより



真岡東中 校長室だより

No. 49

2018/05/28/Mon

ゴルフの日

曾我兄弟の仇討ち	1193年
初の両国川開き	1733年
第1回全日本オープンゴルフ選手権	1927年
プロ野球、張本選手3000本安打達成	1980年

チーム東…生徒・家庭・教職員へ向けての校長通信

高め合い、磨き合い、感動し合い、「愛」いっぱいの真岡東中に！

真岡東中学校HPでもご覧いただくことができます

5/31から県春季各種大会が始まる！

郡市春季大会から学び県春季大会へ…

夏の総体やコンクールに御輿…高め合う東魂！

～各部の部長の反省と今後の抱負①～

前号で、今回の芳賀郡市春季各種大会での生徒たちの活躍ぶりを紹介いたしました。

先日、すべての部の部長に集まってもらい、学んだことや感動したこと、悔しかったことなどを振り返り、反省することや次への目標を立てること、今後の抱負などについて考えることが大切であることを話しました。また、文化部の部長には、運動部の活躍を見て感じたこと、それを今後の活動に生かしてほしいことも話しました。

私から話した後、各部長には作文を書いてもらいました。本校で、共に学んでいる生徒同士が、大会でどんな気持ちであったのか、これから何を目指そうとしているのかなどを知ることは、とても大切です。

では、部長のことば(反省・抱負等)を紹介いたします。今年度の目指す生徒像である「高め合い 励まし合い たくましく生きる生徒」に迫っていくために！



野球部 部長
中島 知樹

この大会で、私たちは一つ自信になったことがあります。それは、秋の新人戦で負けてから、その

悔しさを忘れずに地道な努力を重ねてきた結果、今大会で実力を出し切れたということです。

特に、決勝戦の芳賀中との試合では、4試合戦ってきた中で一番実力を発揮することができました。また、たくさんの人たちの応援も大きな力になりました。本当にありがとうございました。

県大会では、一人ひとりが実力を出し切って、ワンプレー、ワンプレーを大切にしたいと思っております。自分たちは、練習で手を抜いてしまう選手や、集中できない選手もいるので、県大会に向けてそこを直していきたいです。

男子剣道部 部長
三品 大地

今回の大会で自分たちは、改めてとても大きな成長を感じることができた。剣道の団体戦は5人ですが、一人ひとは相手に勝るいい剣道をするのに、結果としてチームは負けてしまう、というのが自分たちの新人大会以来の課題だった。

今回は、それを乗り越え、チームワークで勝つことができた。そして、準優勝という結果につながったので、とても嬉しく感じた。ただ、優勝に一步届かなくて悔しかった。

今回の大会前一週間の練習は部員みんなが気合いに満ちていて、とてもいい雰囲気だった。これを常に維持し、県大会ではベスト16以上、そして夏の総体では優勝できるように全力で練習したい。





**サッカー部 部長
上野 愛斗**

僕は、大会を通して感じたことは、オフェンスの決定力の無さだと思いました。なので、県大会までにしっかり練習を積んでいきたいです。

僕がすばらしかったと思ったプレーは、選手みんなが疲れている時に田中君が盛り上げる声を出してくれたことです。僕たちも、それを見習って良い雰囲気です。そして、県大会で優勝できるように頑張りたいです。



**男子卓球部 部長
山崎 惇平**

今回の大会では団体戦で県大会へ出場することができましたが、悔しい思いをした選手の方が多かったと思います。以前の新人大会では郡市で4位だったので、僕たちの目標は「3位以内に入賞する」でした。しかし今回は前回よりも低い5位になってしまいました。この悔しさをバネにして、これからの練習ではさらに真剣に取り組み、県大会、そして夏の総体で悔いの残らない試合ができるようにしたいです。



**女子バドミントン部 部長
五月女 悠**

今回の大会では、目標にしていた団体戦県大会出場を達成することができませんでした。作戦も相手に読み取られることが多く、新人戦と変わらない結果でした。しかし、団体戦メンバーは、チームの負けが決まっても諦めずにプレーを続け大声で応援していました。この点は良かったと思います。しかし、基礎的な部分は自分も含めてまだまだなので、普段から緊張感を持って練習していきたいです。そして、総体では県大会に出場したいです。個人戦では、私自身は準優勝でした。満足いく結果ではありませんでしたが、決勝まで行くことができ嬉しかったです。総体では日々の練習を頑張り、優勝したいです。

個人戦では、私自身は準優勝でした。満足いく結果ではありませんでしたが、決勝まで行くことができ嬉しかったです。総体では日々の練習を頑張り、優勝したいです。

女子卓球部 部長 大木 空

大会を振り返って、私はチーム力はとても大切だと感じました。応援をする方もされる方も、試合へのやる気が高まり、より集中することができました。

団体戦の結果はダメでしたが、個人の課題が見つかり、より練習へ集中できる大会になりました。個人戦ではベスト16に入り県大会に出場できることになりました。この県出場決定戦で勝つことができたのは、自分の練習の成果が出たのもありますが、何よりも応援してくださった先生方や母親、後輩、友達のお陰でかつことができました。応援してくださった人たちすべてに感謝をして、県大会でも良い結果を出します。



女子剣道部 部長 飛田 咲桜

私たち女子剣道部は、団体戦は出場することができませんでした。個人戦で良い結果を出せました。惜しくも2人とも県大会に出場することはできませんでしたがこれまでの大会での経験を生かして成長することができ、それが結果につながったと思います。総体では団体戦にも出場することができるので、総体へ向けて部活動を盛り上げ、お互いに高め合っていきたいです。県大会では芳賀郡代表として「勝つ」ことができるように気持ちを強めていきたいです。

個人戦では、私自身は準優勝でした。満足いく結果ではありませんでしたが、決勝まで行くことができ嬉しかったです。総体では日々の練習を頑張り、優勝したいです。

バレーボール部 部長

サンディラ アリシャ

私たちバレーボール部は今大会で残念な結果に終わってしまいました。この2日間で、私たちはチームワークの大切さや試合に臨むときの気持ちの大切さがよく分かりました。応援をしてくださった先生方や保護者の方々に感謝をして、次の夏の総体に向けて、自分たちのできなかったところを練習して技術を向上させていき、また、さらに気持ちで負けないように心を強くしていきたいです。

個人戦では、私自身は準優勝でした。満足いく結果ではありませんでしたが、決勝まで行くことができ嬉しかったです。総体では日々の練習を頑張り、優勝したいです。

